

観点別学習状況の評価・評定への総括方法

- 1 前期・後期に観点別学習状況の評価を行う（「あゆみ」に記載する。）
- 2 学期ごとの観点別学習状況の評価を年間の評価に総括する。

前期・後期の評価		年度末の評価（要録）
A	A	A
A	B	AまたはB
A	C	B
B	B	
B	C	BまたはC
C	C	C

※基本的に2段跳びの評価は不可とします。

- 3 観点別学習状況の評価を評定に総括する。（A=3点、B=2点、C=1点）

観点別評価 (知・理・思・判・表、主)			点	評定
A	A	A	9	3
A	A	B	8	3または2
A	A	C	7	
A	B	B	7	
A	B	C	6	2
B	B	B	6	
A	C	C	5	
B	B	C	5	2または1
B	C	C	4	
C	C	C	3	
				1

※基本的に2段跳びの評価は不可とします。

例（実際の要録の様式2）

I 観点別学習状況							
教科	観点・学年	1	2	3	4	5	6
国語	知識・技能	B	C	A	A	B	B
	思考・判断・表現	B	A	A	B	B	C
	主体的に学習に取り組む態度	B	B	A	A	B	C
	評定			3	2	2	1

※総括した3つの観点の評価が同一でない場合は、出現率の高いものを重視しながら、学年の目標及び観点の趣旨に照らし合わせて実現状況を把握し評定する。